



国民健康保険
小松市民病院

基本理念

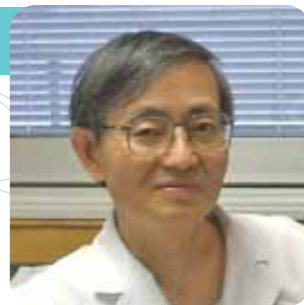
- ・信頼される病院
- ・こころあたたまる病院
- ・地域に開かれた病院
- ・常に向上心をもって働く病院

基本方針

- ・患者中心の医療と権利の尊重
- ・高度・特殊医療、救急医療、へき地医療等の充実
- ・地域の医療、保健、福祉との連携推進
- ・患者サービスの向上と安心感の確保

新年に当たって

院長 川浦 幸光



あけましておめでとうございます。昨年から発行していますヴェーダも第6号を迎えることになりました。小松市民病院にとって、昨年は多くのことがありました。1月に電子カルテの導入、1月31日付けでがん診療連携拠点病院の指定を受けたこと、1月20日からの南加賀急病センターの開設に伴い、当院は二次救急（入院を必要とする救急疾患）を担当することなど、当院を取り巻く環境が大いに変化いたしました。今までに増して、当院が重点を置いている医療や当院が目指している方向性などに加え、各部署での取り組み、医療制度の変化などについて、皆さんに分かりやすく解説したいと思います。

当院は1月から病院のエントランス付近に、がん相談支援センターが開設しました。専門の相談員が常駐していますので皆さんからのがんに関する相談を中心にお受けいたします。個人情報もしっかり保護されますので、気軽に、安心してご相談ください。

現在、本館の病棟改修でご迷惑をおかけしていますが、今年7月ごろには、工事が完成する予定です。ゆったりとした環境で、患者さんのケアにあたりたいと思います。緩和ケア病棟も10月ごろの開設を目指しています。

ところで、当院はがん診療、救急医療、生活習慣病に重点を置いて診療を行って参りましたが、今後もこの方針を継続し、各科の垣根を越えた診療体制にしたいと思います。平成20年が皆さんにとって、良い一年でありますように。

小松市民病院はがん診療連携拠点病院として、がん医療の充実はもとより、がんについて南加賀の住民に対して情報の提供を行うことも求められています。

この度、1月26日(土)にうららにて、市民公開講座(左のチラシ参照)を開催することとなりました。

住民の皆様にわかりやすい内容となっており、また、時間を十分設けて、その場でパネリストが皆様の質問に答える予定です。この機会に是非、がんについて色々知っていただきたいと思います。

市民公開講座についての問い合わせは
地域医療連携室 電話：0761-22-7567



医療 NOW

前立腺がんの 診断と治療

泌尿器科

はじめに

日本では前立腺がんの診断を受ける人が年々増加しています。ある統計によると、男性のがん患者数の将来予想では、2020年には年間の新規前立腺がん患者さんの数は肺がんについて2番目になると予測されています。また一般的に比較的進行の緩徐ながんともいわれています。

がんの診断

前立腺がんのチェックには次の3つが非常に大切です。

まず血液検査ですが、PSA（前立腺特異抗原）が腫瘍マーカーとして有用ですが、前立腺肥大症が大きい場合や、前立腺の急性炎症の強い場合にも上昇することもありますし、PSAが上昇しない前立腺がんもまれに存在します。またPSAは年齢とともに上昇するとも言われ、年齢別に基準値を考慮することもあります。また年ごとの数値の上昇率から疑われることもあります。

つぎに直腸診（触診）です。30年以上前はこれが主流の診断方法でした。医師の示指を肛門より挿入し、直腸前壁を介し前立腺を間接的に触診します。触診上がんを疑う所見の認められない場合でもがんが潜在していることもあります。

さらに経直腸的超音波検査です。肛門から細長い器械（指のような）を挿入し前立腺を調べます。明らかにがんを疑う所見の認められない場合でもPSAが高ければ前立腺がんが潜在していることもあります。

上記のいずれかによってがんの存在が疑われた場合は確実な診断のためには超音波装置で監視しながら、前立腺に針を刺し一部の組織を採取して、病理学的検査（顕微鏡による診断）をする必要があります。それを超音波ガイド下前立腺針生検といいます。生検は比較的簡単に行えますが、時に合併症で症状の強く出る方がおられます。当院では1泊2日の入院で施行しております。またPSA値により、すぐ生検は行わず3ヶ月後くらいにPSAの再検査にて推移を見る場合もあります。

前立腺がんを発見するための最初の検査

- ①前立腺特異抗原 (PSA) : 血液中の前立腺から特異的に分泌されている糖蛋白質の測定
→血液中の値が高いとがんの疑い
- ②直腸診: 直腸からの前立腺の触診
→硬く触れる、変形はがんを疑う所見
- ③経直腸的超音波検査: 直腸からの超音波検査
→前立腺の変形、内部の低エコー像はがん疑い

- ①PSA再検査、②直腸診
- ③経直腸的超音波検査を行ない、
前立腺がんが疑われる場合



超音波ガイド下前立腺針生検を行います

前立腺から超音波装置で観察しながら組織を採取する検査で、検査時間は15分程度です。肛門より操作します。

がんが確定した場合の病期診断

がんの進行具合を検査し病期を推定します。また同じがんでもおとなしいタイプか進行の速そうなタイプかを組織検査で判断します（悪性度）。その進行度（病期）によって、治療法が提示されます。前立腺がんは早期がんでない場合でも有効な治療法もあるので、悲観的になる必要はありません。

前立腺針生検による組織検査でがんの診断が確定した場合

病期の決定: 病気(がん)の広がりを知る
CTスキャン、骨シンチ、MRI、胸部レントゲンなどを行う。

組織像による分化度、グリソンスコア、PSAの値なども参考所見となる

治療の方針決定

早期前立腺がんの治療方針決定

治療により得られるもの

根治性、それに伴う満足感

治療により失うもの

治療による合併症、副作用

医療者

患者

自分の身体状況

年齢、併存症、生き方

自分の社会的状況

家庭、仕事、環境、コスト



医療 NOW

前立腺がんの診断と治療－泌尿器科－

治療法

予測される病期、組織学的悪性度、年齢、全身状態などを考慮し、いろいろな選択が可能です。

①前立腺に限局している場合の選択肢

- ア、手術療法
- イ、放射線療法
 - a.組織内照射（当院では現在実施できません）
 - 小線源療法
 - ・ヨウ素のカプセルの埋め込み式
 - ・イリジウムの針刺し式
 - b.外照射（当院で可能です）
 - ウ、内分泌療法（男性ホルモンをブロックすることでがんを抑制）
 - a.両側の精巣摘除術（去勢術）
 - b.注射薬（抗がん剤ではない）
 - 1ヶ月毎または3ヶ月毎に投与
 - c.内服薬
 - d.注射または去勢のいずれかに内服を併用
- エ、待機療法
 - 非常におとなしいがんが予想される場合において治療をせずにPSAなどにより経過観察することもあります。

②前立腺の被膜外に浸潤しているが、リンパ節転移や遠隔転移のない場合の選択肢

内分泌療法、放射線療法やその併用（さらに場合により手術療法の併用）

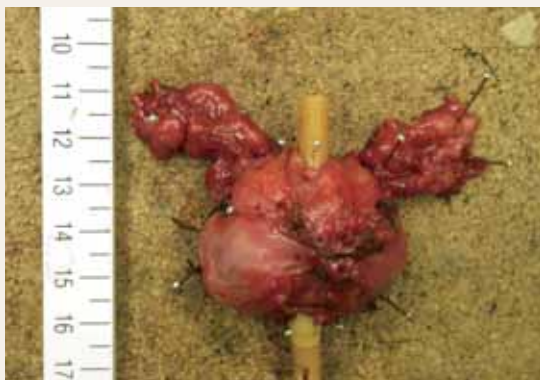
③リンパ節転移や遠隔転移をきたした場合の選択肢

内分泌療法がほとんどで選択される

内分泌療法の効果が無くなってきた場合

- ・内服薬を切り替える（ホルモン剤、抗がん剤、混合剤など）
- ・注射の抗がん剤（特効薬はありませんが欧米にならない、日本でも使用可能となりそうな新薬もあります。）
- ・骨転移に対してはビスフォスフォネート製剤、放射線療法

以上を主治医と十分話し合います。



摘出された前立腺



当院の放射線治療装置

おわりに

前立腺がんに関するお問い合わせは何でも結構ですので、泌尿器科外来へお越し下さい。



第1回 乳がん 患者会

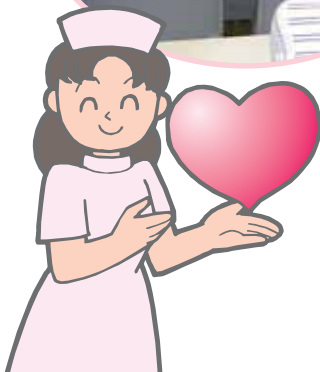
去る2007年9月28日(金)当院の研修室にて 第1回乳がん患者会を開催いたしました。

近年、女性のがんの中で乳がんの罹患率が少しずつ増加しています。また罹患年齢の若年化がすすみ、子育て、家事あるいは仕事で奮闘中の40～50代がピークだといわれています。そんな慌しい中、がんを疑っての検査から始まり、がんの告知、手術、放射線療法、抗がん剤療法、ホルモン療法などが行われます。患者さんはがんかもしれないという不安感、告知による絶望感、手術による痛み、乳房を失うことの悲しみ、抗がん剤やホルモン療法による副作用などと向き合っておられます。そんな同じ体験をされた方にお集まりいただいて、つらかった思いや体験、日ごろの悩み、乗り越えて今がんばっていることなどを、思う存分話し合ってください。癒しや安心を提供したい、また改めて病気についての理解を深めていただきたいというのが開催の主旨でした。

患者会には外来通院されている患者さん22名、ご家族3名、計25名のご参加がありました。内容の前半は当院外科の塚山先生による乳がん治療についての講義、後半はグループに分かれてのフリートークとしました。講義はわかりやすいスライドで参加者から「手術のあとにどうして抗がん剤や放射線療法が必要になるのかがよくわかった。」など好評な感想をいただきました。また、フリートークでは3グループでの会話が盛り上がり、設けた時間が足りないほどでした。お互い手術の傷を見せ合う場面や、抗がん剤の脱毛による悩み、腕のしびれやむくみを話し合う場面などがみられました。スタッフもグループトークに加わり、悩みや不安などをじっくり聞き、思いを知ること、外来診察を待つ患者さんのこれまでの看護などの関わりを見直す機会となりました。

参加後のアンケートからは「よかったですので定期的に開催してほしい」という声が多く、今後半年ごとに乳がん患者会を企画開催することとなりました。

ご参加された皆様ありがとうございました。





健診センターの紹介

健診センター室長(兼) 副院長 亀田 正二

【健診センターが新しくなりました】

2007年6月、当センターは改修工事によりスペースを大きく拡張し、内容も一新して再出発しました。改修の主な目的は、将来的にセンター内でほぼ全ての検査を行えるようにすることであり、とりあえず内視鏡検査、超音波検査、レントゲン室などのスペースが確保され、また待合室の拡張と快適化が果たされました。

人員は、兼職ではありますが、センター室長の医師1名、保健師の資格を有する看護師1名、パート看護師2名、事務職4名、検査部からの技師1名、さらに曜日毎の交代の内科医師4名が参加しています。



【流れは治療から予防へ】

2008年より厚生労働省が勧める特定健診、特定保健指導が始まります。国が国民の生活習慣まで管理するののかということ、主な目的が医療費抑制のためということで、体制が不十分なまま、とにかく始めてしまうということ、などに複雑な思いはあります。しかしながら糖代謝異常、脂質代謝異常、高血圧など、肥満から生ずるいわゆるメタボリック症候群に続く脳血管疾患や、虚血性心疾患が年々増加し、国民の健康に大きな脅威になっていることに間違いはありません。私達は健診、保健指導などに積極的に携わっていきます。



【健診には総合力が大事です】

当院の第1の使命は、南加賀地域の中核病院として急性期治療を担うことです。しかしながら、いうまでもないことですが予防医療に関しても当院は地域に開かれた病院でなければなりません。地域がん診療連携拠点病院に選ばれたとなればなおさらです。健診はどこでもできるというものではありません。医師・看護師・技師・栄養士・事務管理職員など多くの人員が関わり、その病院のもつ人的、物的資源の総合力が問われます。



当院の総合力はより高い精度の健診を可能にすると信じています。

【より一層充実したセンターへ】

現在、健診業務は院内各部署の協力により進められています。ただ部門間の調整に時間をとられ、受診者受け入れに限界があります。将来的には、センター人員を充実させ、半ば独立した形での運営を目指し、受診者の増加に応えたいと思っています。



【健診のご案内】

予約制

- 労働安全衛生法に基づく健康診断
 - 一般健康診断、特殊健康診断、行政指導による健康診断
- 生活習慣病予防健診
 - 政府管掌健康保険生活習慣病予防健診、各種健康保険組合の健康診断
- 人間ドック
 - 半日ドック、1泊2日ドック
- 事業所健診

当日受付
午前8:00~11:30

- 就職・進学に必要な健康診断（診断書の作成）

※尚、お問い合わせは健診センター TEL0761-22-7115 または 0761-22-7111(代) 内線 3522



平成19年1月より改修工事が開始され、やがて12ヶ月が経過しようとしています。工事は患者・スタッフのご協力により順調に進んでいます。平成20年1月からは東側病棟7階から4階にかけて工事を予定しています。騒音・振動等の発生により皆様にはご迷惑をおかけしますがご協力おねがいします。

前回のヴェーダで紹介したエリア

8階病棟、2階健診センター、1階中庭渡り廊下、駐輪場、玄関スロープ

① 7階・6階西側病棟

6病床を4病床に改修し、個室並びにラウンジ、ナースセンター周りの環境改善を行いました。また、処置室・面談室の個室化により患者様へのプライバシー保護を充実させました。



6階個室

② 1階脳外科

旧精神科の場所に脳外科がリニューアルしました。主な改修内容は、プライバシーの確保を充実させ、診察室及び処置室を個室化しました。また、従来の室内照明より明るく患者さんへより安心して診察を受けてもらえるように整備しました。



6階ラウンジ

③ 1階点滴・採血室、内科診察室

点滴・採血室及び内科診察室2室を機能的に充実するよう改修しました。点滴室は最大9人が診療できるようベッドが配置されています。また、処置室及び採血室にはプライバシーの保護のため衝立を設置し3人が同時に採血できるよう整備しました。



点滴室



採血室

④ 正面玄関風除室

総合案内は冬の期間非常に寒いため、風除室を広くして外からの風量を少なくすることにより総合案内の熱交換を減少させるように改修しました。また、総合案内天井にファンを設置し、室内温度を保持できるよう設置しました。

⑤ 総合案内

総合案内カウンター内を保護するためシャッターを設置するとともに、案内表示板及び幕板の基調色を緑色から暖色である木目調と白色で清潔感を持たせたカウンターに改修しました。また、診療相談等の部屋不足を解消するため、地域医療連携室前にカンファレンス室2室とがん相談支援センターを設置しました。



総合案内カウンター



総合案内



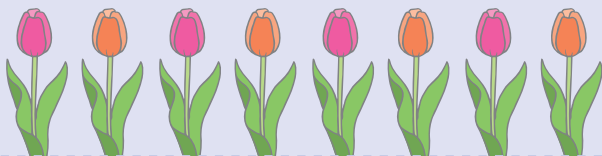
トピックス①

プランターの花植え替え

ふれあい文庫の会

小松市民病院のボランティア団体「ふれあい文庫の会」の会員13名と病院職員10名は10月31日、プランターに秋の花々を植え、病院の正面玄関や中庭などを彩りました。春に植えたベゴニア、サルビアに代わり、黄色や白色のパンジーやビオラ280株を手際よく植え替え、病院の廊下では微笑みながら作業の様子を見守る人の姿が見受けられました。

この他救急外来の入り口には、赤や白のチューリップ30個の球根を植え、外来を訪れる人々の癒しになればと、作業にがんばりました。



トピックス③

心癒すコーちゃん手品

小松能美メンタルヘルスボランティア友の会

「小松能美メンタルヘルスボランティア友の会」のメンバーが12月12日、同病棟恒例の「クリスマス会」に参加しました。

マジカルコーちゃんの名で知られる幸西勝枝さんが筒からバナナやオレンジジュース、ビールなどを次々に出す手品を披露。ティッシュをうどんに変える技も飛び出し、参加者らは「不思議」「なんで？」と目を丸くしていました。

幸西さんは2年半ほど前からマジック教室に通い始め、「誰かに喜んでもらえれば」と7月に同会に入会。小松市民病院や福祉施設などを慰問しています。この日はちょうど100回目のマジックショーとなりま

トピックス②

クリスマス花の展示

池坊小松支部青年部

池坊小松支部青年部・北村和代青年部長さんら14名は、小松市民病院1階ロビーにクリスマスをイメージした生け花を展示しました。展示された生け花10点には、すべてに白い可憐なユリが飾られ、木のつるで作られたネットにクリスマスをイメージしたリースをあしらう等独創的な作品が並び、訪れた患者さん達のこころを癒しています。



した。

同会は南加賀保健福祉センターが開いたボランティア養成講座の修了生で、2004年に発足。会員は現在87人で、夏祭りなどの行事や折り紙教室、茶席、歌遊びなどで精神科棟の患者らと交流を深めています。

「閉鎖されがちな病棟と世の中を結ぶ風に私たちがなれば」と思っています。（新聞より）





医療 NOW



小児科Q&A、ときどきA&Q

(下痢編)

小児科部長
上野 良樹

Q 飲むたびにいっぱい下痢をするんですけど大丈夫でしょうか？

A 「ずばり大丈夫です」。発熱があったり、吐き気が強くて飲めなかったり、ぐったりして食欲がなければ別ですが、飲めれば大丈夫。飲むと出るので無理に飲ませない方がいいのでしょうかと聞かれるお母さんもいますが、飲むから出るのはなく出た分飲ませるといふふうに考えて下さい。ただほとんど水様で出るたびにオムツからあふれるような場合は脱水症に注意しなければいけません。乳幼児の下痢のほとんどはウイルス感染です。ノロウイルスとかロタウイルスとかがやたらに有名ですが他にもたくさんのウイルスがあります。風邪と同じで必ず治ります。最近では色んな補水液が出ていますので利用するとよいでしょう。ミルクも飲めれば止める必要はありませんが、下痢が長引くときは乳糖不耐性になっていることがありますので小児科で相談してみてください。

A 「下痢はしていますか?」「便が出ていないので分かりません」

Q {ウーン、便の出ない下痢ってあったかなー?}

A 「下痢は何回しましたか?」「うんちが出るたびです」

Q {ウーン、そう言われても先生は病院にいただけなんだけど}

A 「下痢はいつからですか?」「親戚の結婚式に出た日からです」

Q {これはおめでとうございますと言えいいのかなー?}

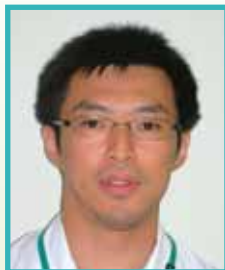
A 「便に血液とかは混じっていませんか?」「1人でしているので分かりません」

Q {カレーぐらい? カレーの上にイチゴジャムのってなかった?
それともみそ汁ぐらい? みそ汁の中ににんじん入ってない?
(子どもがお腹が痛くて下痢しているときくらい便を見てほしいなと思いながら)}



新任医師の紹介

1. 専攻分野、得意分野
2. 認定医・専門分野
3. 今後の抱負
4. 趣味その他



おおつき あきお
大月 哲夫

1. 小児神経、小児一般
2. 新生児
3. 自己研鑽
4. 料理、そうじ、本、だんらん、電気店めぐり



やまぐち てつじ
山口 哲司

1. 外科一般
3. 適切な医療を提供できるよう取り組んでいきます
4. ツーリング、サーフィン

編集後記

平成19年の流行語大賞のひとつに「ハニカミ王子」が選ばれました。高校生が爽やかな笑顔でプレーする光景を見ると、つい頑張れと応援したくなります。病院でも、患者さんを励ますだけでなく、患者さんから励まされるような素敵な笑顔が出来たならと思います。

国民健康保険 小松市民病院

〒923-8560 石川県小松市向本折町ホ60
TEL(0761)22-7111(代) FAX(0761)21-7155
URL <http://www.hosp.komatsu.ishikawa.jp/>
E-mail cbsomu@city.komatsu.ishikawa.jp